

目標達成計画

事業所名 グループホーム 愛しんがら

作成日: R3年3月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	＜重慶化最終期に向け対応策の整備＞ 終末期をどう対応するかがいらないから 看取り未経験の職員も担当しているため、支援 方法がどこに不安がある。	・看取りの考え方を理解し情報を共有できているようにする。 ・実際の支援がスムーズに行えるように 学びを深める。	・施設内・外の研修会に参加する。 ・本人や家族の意向を反映できるように カンファレンスや会議などを行う実践 していく。	6ヶ月
2	35	＜災害対策＞ 万が一に備えてBCPを策定してか、 有事の際にはいかに対応できるか という不安がある。	・併設している特養主体の訓練に 参加するだけでなく、グループホーム主体で 取り組むようにしていく。	・グループホーム主体とする防災訓練の 実施。(設備点検も含む) ・BCPの定期的な見直しを行う。	12ヶ月
3	19	＜本人や家族との関係＞ 24時間面会制限などもあり、家族 とのやり取りが少なくなってきたと感じている。 共感の関係を維持していく。	・ホスピタルケアだけでなく、その他の 方法でもやり取りができるように 支援していく。	・お正月の内容を工夫していく。 ・年賀状やビデオ、Xメールなどの 交換なども行う。関係がとぎれぬ ように努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。